

		科目コード	313
科目名	生体防御学演習 (Specialized Seminar of Host Defence)	選択区分	選択
単位数(時間)	2単位(60時間)	履修時期	1後
担当者	山田 武司		
授業概要	臨床免疫学に関する最新の学術知識を身につけさせるとともに、道の問題は何か、自分の興味は何かを探らせる。		
授業目標	生体防御学特論で学んだ内容を基にして、疾患や生物学現象に関する論文を検索する。その結果を導き出した研究手法や結果の妥当性について考察・理解を深めるとともに、各自の研究課題を遂行するための研究手法を理解し、実際に得られた結果について理解され易いプレゼンテーションを構築することができる。		

授業内容とスケジュール

回	項目	内 容
1・2	オリエンテーション	研究課題の決め方や論文検索の方法について
3・4	感染症(細菌)	感染症学・免疫生物学等に関する提示論文の詳読
5・6	感染症(ウイルス)	感染症学・免疫生物学等に関する提示論文の詳読
7・8	免疫生物学 (アレルギー)	感染症学・免疫生物学等に関する提示論文の詳読
9・10	免疫生物学 (腫瘍と移植)	感染症学・免疫生物学等に関する提示論文の詳読
11・12	臨床細菌学	臨床学的に重要な感染症に関する網羅的論文検索
13・14	新興感染症	近年重要なウイルス感染症に関する網羅的論文検索
15・16	免疫疾患	近年重要な免疫疾患に関する網羅的論文検索
17・18	腫瘍免疫	近年重要な免疫疾患に関する網羅的論文検索
19・20	細菌感染症	論文詳読を通じた論文構築・解析方法・結果について
21・22	ウイルス感染症	論文詳読を通じた論文構築・解析方法・結果について
23・24	アレルギー疾患	論文詳読を通じた論文構築・研究方法について
25・26	腫瘍免疫と免疫治療	論文詳読を通じた論文構築・研究方法について
27・28	生体防御機構	生体防御学における重要な解析・分析方法についての総括
29・30	演習の総括	プレゼンテーションの実施
成績評価方法	課題レポートおよび発表内容・態度を併せて総合的に評価する。	
必携あるいは参考図書・文献	欧文雑誌からの論文他、その都度、プリントを配布する。	
備 考	生体防御学特論の履修を前提とする。評価は特にプレゼンテーションに比重を置く	